

記者発表資料

平成24年度 相武国道事務所の事業概要

相武国道事務所では、当初予算約290億円をもって、首都圏中央連絡自動車道(圏央道)等の改築事業や国道16号、国道20号での交通安全事業、電線共同溝事業、共同溝事業を実施していきます。

平成24年度の主な事業は以下のとおりです。

※さがみ縦貫道路のIC名称決定についても、本日付で国土交通省横浜国道事務所・相武国道事務所、中日本高速道路(株)において記者発表しております。

《主な事業内容》

■国道468号 しゅとけんちゆうおうれんらくじ どうしゃどう けんおうどう 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)〈H24事業費:217.7億円〉

- ・相模原愛川IC～高尾山IC間 さがみはらあいかわ たかおさん 平成25年度 完成4車線開通予定*

しろやまはちおうじ あいかわ さがみがわばし
城山八王子トンネルや愛川トンネル、相模川橋等の工事を実施します。

※相模原ICについては、平成26年度開通予定

■国道16号 はしもとえきしゅうへんせいび 橋本駅周辺整備〈H24事業費:4.6億円〉

- ・橋本駅南入口交差点(相模原市西橋本) はしもとえき さがみはら にしはしもと 平成24年度 暫定開通予定

地下歩道の工事を実施します。

■交通安全事業〈H24事業費:10.78億円〉

- ・国道16号 さがみはらえきしゅうへんちくじてんしゃどうせいび 相模原駅周辺地区自転車道整備(その2) 平成24年度 新規着手

自転車道の調査設計を実施します。

■電線共同溝事業〈H24事業費:10.33億円〉

- ・国道16号 みどりちやうでんせんきやうどうこう 緑町電線共同溝 平成24年度 完成予定

電線類の地中化及び路面復旧工事を実施します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川建設記者会
東京都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、八王子記者クラブ
立川市政記者クラブ、青梅・西多摩記者クラブ、相模原記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 相武国道事務所 TEL:042-643-2001(代表)
副所長〔改築担当〕 佐久間 博之(さくま ひろゆき)
副所長〔管理担当〕 村 刺 徹雄(むらさし てつお)

平成24年度 相武国道事務所 事業費

(単位:百万円)

事業名	事業費
改築事業	26,850
国道16号 八王子～瑞穂拡幅	500
国道16号 八王子拡幅	1,100
国道16号 橋本駅周辺整備	460
国道20号 日野バイパス(延伸)	900
国道20号 八王子南バイパス	2,100
国道468号 首都圏中央連絡自動車道(愛川～八王子)	21,770
国道16号 神奈川16号環境対策【平成24年度より新規】	20
交通安全事業	1,078
国道16号 相模原駅周辺地区自転車道整備(その2)(主たる事業箇所) 他8箇所	
電線共同溝事業	1,033
国道16号 緑町電線共同溝(主たる事業箇所) 他8箇所	
共同溝事業	250
国道20号 調布(2)共同溝【平成24年度より新規】	
合 計	29,211

※上記のほか、維持管理費、調査費、業務取扱費等がある。

国道468号 首都圏中央連絡自動車道(愛川～八王子)

H24年度事業費:217.7億円

1. 事業の概要

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)は、都心から半径およそ40km～60kmの位置に計画された総延長約300kmの環状の高規格幹線道路であり、3環状9放射道路ネットワークの一部を形成し、東京都中心部への交通の適切な分散導入を図り、首都圏全体の交通の円滑化、首都圏の機能の再編成を図る上で重要な路線です。愛川～八王子区間は、その一部を形成する延長16.9kmの自動車専用道路です。

事業区間：自) 神奈川県愛甲郡愛川町中津
至) 東京都八王子市裏高尾町

延長：16.9km



2. 平成24年度の予定

■ 相模原愛川IC～高尾山IC間(L=14.7km)

城山八王子・川尻・葉山島・愛川の各トンネル、相模川橋や相模原ICランプ橋などの工事や、相模原市中沢都畑地区等で改良工事や道路設計、環境調査、用地取得を実施します。



相模原ICから高尾山IC方面を望む
(平成24年2月撮影)



相模原愛川ICから相模原IC方面を望む
(平成24年2月撮影)

国道16号 八王子～瑞穂拡幅

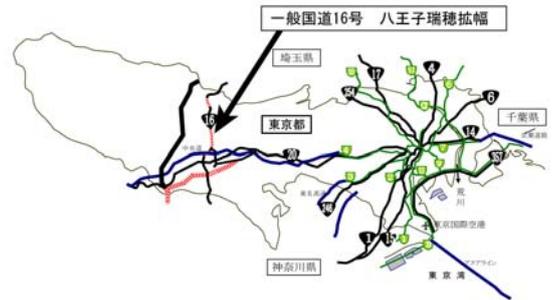
H24年度事業費:5.0億円

1. 事業の概要

国道16号八王子～瑞穂拡幅は、八王子市、昭島市、福生市、羽村市、西多摩郡瑞穂町の交通混雑の緩和と交通安全の確保を目的とした八王子市左入町から瑞穂町二本木までの延長14.6kmの現道拡幅事業です。

これまでに、八王子市左入町から昭島市拝島町間及び福生市熊川から瑞穂町二本木間の約12.9kmについて4車線化や立体化が完了しており、現在、昭島市拝島町から福生市熊川までの松原地区約1.7kmについて事業を実施しています。

事業区間 : 自) 東京都八王子市左入町
至) 東京都西多摩郡瑞穂町二本木
延長 : 14.6km



2. 平成24年度の予定

松原地区の改良工事及び武蔵野橋架替に向けた工事や道路設計、用地取得を実施します。



福生市熊川から八王子方面を望む
(平成24年3月撮影)



武蔵野橋状況
(平成24年4月撮影)

はちおうじみなみ 国道20号 八王子南バイパス

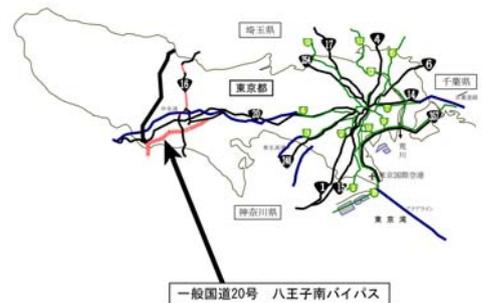
H24年度事業費:21.0億円

1. 事業の概要

国道20号八王子南バイパスは、八王子市域の混雑緩和と交通安全の確保とともに、圏央道の高尾山ICと接続し、圏央道のアクセス道路として、行動範囲の拡大、移動時間の短縮を図る八王子市北野町から八王子市南浅川町までの延長9.6kmの4車線バイパス事業です。

平成22年7月に町田街道（八王子市館町）から国道20号（八王子市南浅川町）までの延長約2.6kmが開通しました。

事業区間：自) 東京都八王子市北野町
至) 東京都八王子市南浅川町
延長：9.6km



2. 平成24年度の予定

道路設計、環境調査、八王子市北野町から八王子市館町間の用地取得、寺田地区の改良工事を実施します。



医療センター入口交差点から浅川トンネル方面を望む
(平成23年2月撮影)



改良工事の予定をしている寺田地区
(平成23年2月撮影)



国道20号 日野バイパス(延伸)

H24年度事業費:9.0億円

1. 事業の概要

国道20号日野バイパス(延伸)は、国道20号(甲州街道)や、並行する北野街道等の混雑緩和並びに交通事故の減少に伴う地域の安全性の向上を目的とした、日野市川辺堀之内から日野市西平山三丁目に至る延長3.8kmの4車線バイパス事業です。

事業区間：自) 東京都日野市川辺堀之内
至) 東京都日野市西平山三丁目

延長：3.8km



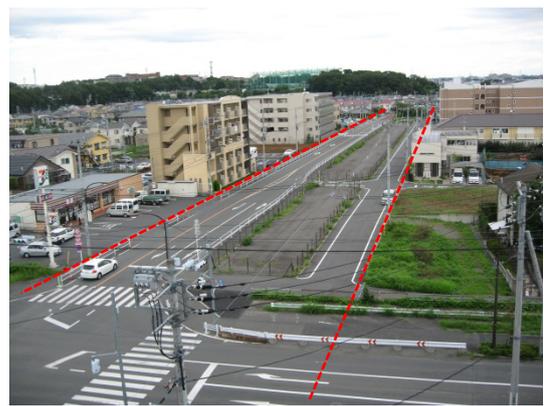
一般国道20号 日野バイパス(延伸)

2. 平成24年度の予定

道路設計や土地区画整理事業との調整を図り、用地取得を実施します。



豊田南土地区画整理事業地から国立方面を望む
(平成23年2月撮影)



東豊田地区土地区画整理事業地
(平成23年9月撮影)



はしもとえきしゅうへんせいび 国道16号 橋本駅周辺整備

H24年度事業費:4.6億円

1. 事業の概要

国道16号橋本駅周辺整備は、相模原市緑区西橋本1丁目から相模原市緑区西橋本5丁目に至る延長1.5km区間における交通結节点*の整備事業です。

現在、橋本駅と橋本地区都市拠点総合整備事業箇所とを結ぶ橋本駅南入口交差点において横断地下道の整備を実施しています。

事業区間：自) 神奈川県相模原市緑区西橋本一丁目
至) 神奈川県相模原市緑区西橋本五丁目
延長：1.5km



2. 平成24年度の予定

橋本駅南入口交差点において、横断地下道を平成24年度内に暫定供用する予定です。



橋本駅南入口交差点を望む
(平成23年2月撮影)



橋本駅南入口交差点 横断地下道平面図



*交通結节点：鉄道駅、バスターミナル、自由通路や階段、駅前広場やバス交通広場、歩道などの交通手段を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設のことを言います。

平成24年度新規着手

国道16号 相模原駅周辺地区自転車道整備(その2)事業

交通安全事業

H24年度事業費:0.21億円

1. 概要

国道16号の相模原駅周辺地区は、歩行者と自転車の交通量が多く、特に高齢者や児童の歩行者と、自転車の接触事故が懸念されている箇所です。

当該箇所のうち、約0.8kmについては「自転車通行環境整備モデル地区」としてすでに自転車道が整備され、歩行者と自転車が分離されており、利用者の反応も概ね好評なことから、同様な交通状況である当該区間についても、自転車道の整備を行い、歩行者の安全確保と自転車通行環境の向上を図るものです。

一般国道16号 相模原駅周辺地区自転車道整備(その2)事業

事業箇所：自) 神奈川県相模原市中央区富士見三丁目
至) 神奈川県相模原市中央区清新三丁目

延長：1.8km

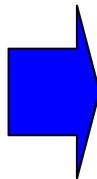


2. 平成24年度の予定

調査設計に着手します。



現在の現地状況
(平成23年8月撮影)



自転車道整備イメージ
(平成24年5月撮影)



平成24年度完成予定

国道16号 緑町電線共同溝(電線共同溝事業)

H24年度事業費:0.70億円

1. 概要

昭島市 緑町では、道路上に電線類が張り巡らされ、歩道には電柱が立ちならんでいます。

このため、電線共同溝を整備し、電線類を地中化することにより、歩道上の無電柱化を図り安全で快適な通行空間の確保、都市景観及び都市防災の向上を図るものです。

事業箇所：東京都昭島市 緑町地先

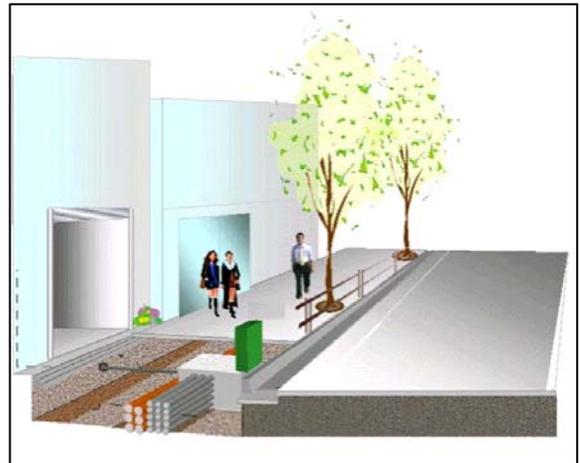


2. 平成24年度の予定

電線類の地中化及び路面復旧工事を実施し、平成24年度内に完成する予定です。



国道16号昭島市緑町の状況
(平成24年5月撮影)



電線共同溝整備イメージ図



いじかんり 維持管理

1. 概要

相武国道事務所管内の^{とうきょう}東京都・^{かながわ}神奈川県・^{さがみはら}相模原市内における国道16号、20号の延長約101.9kmを管理しており、巡回、清掃、除草、剪定、路面の補修など道路の維持管理を実施しています。

なお、効率的な維持管理によりコストの縮減を図りつつ、道路利用者の安全安心な交通の確保に努めてまいります。

また、重要な道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するため、橋梁の定期点検により状況を把握し、劣化や損傷が生じた箇所を補修することで橋梁の長寿命化を図るとともに、大規模地震発生時における緊急輸送道路を確保するため、橋梁の耐震補強工事を実施しています。



路面清掃状況



除草状況



路面補修状況

2. 平成24年度の予定

主な事業

耐震補強：国道16号 ^{はいじまばし} 拝島橋

地震による橋脚の倒壊や橋桁の落下を防止するため平成23年度より引き続き、既設橋脚のコンクリート巻き立て及び落橋防止装置等の耐震補強を実施します。

橋梁補修：国道16号 ^{はちこうせん こせんきょう} 八高線跨線橋

経年変化に伴い、ひび割れ、剥離、鉄筋露出が生じていることから、対策として断面補修を実施します。



耐震補強（落橋防止装置）事例
* 写真は国道16号 打越高架橋



橋梁補修（断面修復）八高線跨線橋